

事業所職員向 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	職員からの意見など	課題・改善点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	21	4	1	・クラスによっては、人数のばらつきがあり、職員＋子ども達が利用するには、狭いところがある。 ・大人数になるとスペースが狭い所がある。	・活動内容や子どもをグループに分けるなど工夫していきます。 ・人数に応じたクラス利用ができる様考慮していきます。
	2	職員の配置数は適切であるか	20	5	1	・日によって異なる。 ・子ども達の見守りが十分になるよう適切な配置をしている。 ・子どもの特性を考えると、職員1人に対して子ども3人は難しい配置数になる。 ・多いと感じる。 ・正職員より介助員の人数が多い為、日によって支援が難しい時がある。	・日によって職員の配置数に差があり、個々のニーズに沿った支援ができない時もあり、十分な職員が配置されているといえない日や逆に配置人数が多く、手厚すぎる日もあり、子どもの力を最大限に引き出せない事もある為職員の人数が少ないと分かっている日は前日ではなく、前もって職員の出勤日調整を行い、逆に職員が多い日の活動内容については十分に子どもの力が発揮できる様に心掛け、活動に取り組んでいきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達への配慮が適切になされているか	22	2	2	・死角が多い。 ・壁面の情報が多い。 ・パーテーションが必要な時があってもその場がない、あるいは足りない。	・子どもたちが安全に過ごせる様に、また死角については職員全員に周知し、意識していきます。 ・壁面の掲示方法、及びパーテーションの必要性については職員会議で検討します。
	4	生活空間は、清潔で、心地良く過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか	25	1	0	・清潔であるが、音が反響しやすい。 ・衛生面、清潔を保つ為の意識づけは日々行われていると思う。支援と同じぐらい重要な要素のひとつとなっていると思う。 ・消毒の徹底と習慣化。	・園内の反響音対策については、改善策を業者に相談してみます。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	22	2	2	・介助員と正職員が定期的に情報共有や振り返りを行っている。 ・発達障がいへの理解、保育への理解が出来ていない職員への研修が少ない。	・発達障がいについての勉強会を実施していきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	23	1	2		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行なうとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	20	0	6		・実施している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	15	5	6		・第三者による外部評価は実施していません。 ・パート職員との情報共有に努めていく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	22	1	3		
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	26	0	0		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	21	0	5		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	25	0	1		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	25	0	1		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	26	0	0		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	23	1	2	・月案を立て実施、振り返りを行う。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	23	2	1	・活動が固定しがちである。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	24	2	0		・時間を工夫し、情報共有に努めていきます。 ・朝の通園バス添乗担当になった際は添乗後すぐに活動に入る事になる為前日に確認をするようにしていきます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	20	4	2	・日々の振り返りの時間はない。	・クラスごとに違いはあるが、正職員とパート職員間で必ず毎日打ち合わせ及び支援の振り返りができない事がある為改善及び工夫が必要である。
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	24	1	1	・子どもの日々の記録はつけているが、活動の記録・反省はされていない。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	25	0	1	・前期・後期と目標を振り返り成長に応じて変更している。	
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	21	1	4		・パート職員にも情報の共有を行っていく。	
関係機関や保護者との連携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	22	0	4		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行なっているか	／	／	／		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	／	／	／		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	20	3	3		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	22	1	3		
	27	他の児童発達支援センターや発達障害者支援事業所、発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	21	2	3		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	22	2		・個別で幼稚園等に通い交流を実施している。 ・新型コロナウイルス感染症対策の観点から園庭開放への参加の機会を設けることはできませんでした。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	9	11	6		・会議内容により、相談支援専門員又は児童発達支援管理責任者が会議に参加しているが、他職員に対して会議の内容報告まで出来ていない為会議の情報共有を今後行っていきます。 ・会議に参加したことのない職員の参加についても今後検討していきたい。

	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	23	0	3		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	10	9	7	・保護者向け講習会がある。 ・保護者の方へどこまで支援しているか、介助員としてわかっていない。	・家族支援への課題が大きく、助言できることを職員間で話し合い、職員のスキルアップをはかっています。 ・クラス会議等で保護者への支援状況について共有していきます。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	22	0	4		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	24	0	2		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	23	1	2	・園と自宅での情報共有意識が少なく、自宅で過ごしている様子がわからない。	・連絡帳や入電及び面談内容等、またはご自宅の様子についても情報を共有し、クラス職員が適切に対応できるようつとめてまいります。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	23	1	2		・現場の職員が、保護者交流会により参加できる様保護者交流会の実施方法や実施時間帯等について、検討が必要である。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	26	0	0		・相談や申し入れがあった際には迅速に対応出来るように今後も心掛けていきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	22	2	2		
	38	個人情報に十分注意しているか	25	0	1		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	25	0	1	・連絡帳で日々の様子を共有し必要であれば電話と対面で情報の伝達を行っている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	13	8	5		・地域の福祉ニーズに応じた地域貢献活動に取り組んでいきたいと考えています。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	24	0	2	
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	24	0	2		
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	24	0	2		
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	25	1	0		・担当しているクラス以外の対象児についての情報共有を徹底していきます。
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	22	3	1	・記入、共有がない。	・ヒヤリハットを未然に防ぐための工夫が必要である。
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	26	0	0		・毎月「業務等のセルフチェックリスト」にてセルフチェックを実施しているが各職員がチェックした事を詳しく検証するまでは至っていない為日々のセルフチェック内容を検証し、支援に繋げていきたいと思っております。 ・虐待防止委員会を中心に研修等を通し、虐待防止に努めています。 ・研修に参加できなかった職員へのフォローの徹底方法について、検討が必要である。
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	23	0	3		